



第18回写真コンクール 佳作「夕映え」山田朝彦氏(株山田組)



沼津建設業協会  
広 報 誌

編集・発行  
沼津建設業協会

広報青年委員会  
沼津市御幸町17-12  
電話(055)932-8311  
<http://numazukenkyo.jp/>  
発行日 隔月1日

平成十八年七月五日未明、北朝鮮から発射されたミサイルに日本国民は震撼させられた。ミサイルはいずれも日本から数百キロ離れた日本海に着弾したものと推測される。もし本土に着弾したことを考えると、とても恐ろしい現状を見逃すわけにいかないだろう。日本では来年三月にはパトリオットを改良した地上発射型迎撃ミサイル(PAC3)を導入する予定らしいが、一九九二年の米議会会計検査院の報告によると湾岸戦争で活躍したとされる迎撃ミサイル(パトリオット)の命中精度は九%程と報告されている。北朝鮮より本土にミサイルが発射された場合、ミサイルを迎撃できるとは考えられない。強硬路線を崩さない北朝鮮に無条件の六カ国協議参加、ミサイル発射凍結要求等でき

る限りの対応策を展開しているが、果たして効果があるのだろうか。日本政府では「対話と圧力」を全面に押し出し北朝鮮に対し対話を要求してきたが、拉致問題は未解決であり、核開発問題解決に向けた六カ国協議の席につかず、日朝ビョナン宣言を破棄した形になっている。そして、外交圧力として金融制裁措置は決定したものの、国連憲章第七条を欠いた国連安保理決議を見る限り、国連からは対朝姿勢を押しえられている状態である。日本としては中国並びにロシアに対し、世界平和を阻害する北朝鮮に強い体制で臨んでもらわないことには、この危機から脱出する道は少ない。

もし今回の件で北朝鮮が暴発するようなことがあるとすれば、すぐに戦争へと突入するであろう。また、北朝鮮以外の他国を巻き込んだ大きな戦地になることは目に見えている。日米安全保障条約とは日本国民の生命に係わる大きなシールドである。しかし、最終的な対抗選択によって危険な将来を迎える可能性は否定できない。



日本の安全保障

益ではなく経済バランスがとれていれば、お互いの需要と供給を満たせる。日本でもデフレスパイラルを脱却したようにいわれ、中小零細企業はともかくとして大企業の各社が軒並み高利益を出している。国民が一定水準の生活を確保し、尚且つ政局が安定していれば、どの国でも争いごとが未然に防げるはずである。

日本はアメリカの傘の下、安全の保証をもらっている。

# 未来に向けて

第72回

## 常識って何んだらう

昨今「会社は株主のもの」という言葉がもてはやされ、

それがあたり前のような風潮がある。会社は株主のものでない。株主の権利は「株主総会での投票権」である。会社の社内留保や資産は会社のものである。会社はそこに働く人たちのものなのである。このような常識？ 良識？ 普通の考え方がなぜ出来なくなってしまったのか？

常識とはいったい何であらうか？

辞書で調べると常識とは、世間一般が有していて当たり前のものでしている価値観、知識、判断力のこと、そして、ある社会の常識は必ずしも普遍的な真理であるとは限らないとある。哲学者の三木清氏によれば、常識の上位概念として良識があり、常識に疑問を持てる知恵が良識という。

ある日の産経新聞の記事よ

り  
教師に無理難題、理不尽な親急増」とあった。

「あの子の親と仲が悪いから、今すぐうちの子供を別のクラスに移して!!」

「うちの子が怪我をして学校を休む間、怪我をさせた子供も休ませろ!!」

「持ち込み禁止の携帯電話を取り上げられた親から「基本料金を日割りで払え!!」

・小学校の一学年全クラスの担任配置表を独自に作成して「この通りでなければ子供を学校に行かせない!!」

・「石をぶつけてガラスを割ったのは、そこに石が落ちていたのが悪い!!」

・「義務教育だから給食費を払わない!!」

・親が学校にクレームを言いに来た日の「休業補償を支払え!!」

このような「信じられない要求」を教師(学校)に対してぶつけるケースが各地で増え

ているようだ。

また驚くのは、私が聞いた話の中で、一教師であるにもかかわらず、親の立場になると、学校に対し理不尽なことを要求する人がいるというのだ。我が子が可愛い、というのは何時の世にも変わらぬ親の子に対する愛情であると思うが、世の中は個人だけで存在しているのではなく、そこには様々な人とかかわりがある。物事を判断するときは一義的に、自己中心的な物の考え方しか出来ない人がいることに違和感を覚える。

お互いの立場を理解せず、一方的な自己中心の、良識を欠いた言動が社会に蔓延しはじめている、いや、既にしてしまったのかもしれない。

このような大人たちに育てられた次代を担う子供たちはいったいどうなってしまうのか? 情緒や感受性が豊かで品位のある日本が消えてしまうのではないかとさえ思う。

「世の中で生きていく限り必要なことは、他人の心を理解することである。偉い人は、人の心のわかる人である。」解剖学者の養老孟司氏は述べている。

お互いに、他人の心を理解し、聞く耳を持ち、見識を持つことこそ我々が過去・現在・未来へ向けて持ちつづける良識である。



# 地区だより

## 御殿場市建設業協会 研修旅行の実施



御殿場市建設業協会(勝又誠会長)は、六月十五日(木)十八日にかけて、タイのพัทยาビーチ・バンコク方面に研修旅行に出かけた。พัทยาビーチではスカイフライト。水上バイク等に挑戦。バンコクでは水上マーケット。暁の寺を見学。さらに、ガイドから新国際空港建設で導入予定の新交通システム「モノレール」の概要を聞き、工事現場を見学した。

## 安全講習会及び 安全祈願祭の開催

御殿場市建設業協会は、七月十一日(火)午前九時三十分より御殿場建設会館において、第七十九回全国安全週間実施に伴う安全講習会と安全祈願祭を行った。講習会では、沼津労働基準監督署の日吉浩第二課長が「建築物等の解体等の作業におけるアスベストばく露防止対策」について、ビデオ上映を交えて説明した。この講習会には会員のほか御殿場・小山の解体業者も参加した。さらに、参加者全員で「安全の誓い」を読み上げ、労働災害の絶滅の決意を新たにした。引き続き、沼津労働



基準監督署、御殿場市、東部農林・沼津土木事務所御殿場支所などの関係者を招き、安全祈願祭を執り行なった。



## 沼協御殿場地区 「住みよい街へ 道路美化運動」



沼津建設業協会御殿場地区は、七月六日(木)社会貢献の一環として市内の道路清掃活動を行なった。

行楽シーズンを前に、会員二十三名が四班に分かれて富士山周遊道(二班)、乙女、長尾峠のゴミ拾いや不法投棄の調査などを行った。奉仕活動に参加して、始めはゴミの多さに驚き、怒りあきらめ、そして自分たちは「決してポイ捨てはしない」という決意を新たにしました。

## おやまDEどんぶらこ



小山町建設業協会(河野一郎会長)は、七月二十九日(土)第四十二回小山町金太郎夏祭りの鮎沢川下りレース「おやまDEどんぶらこ」コース設営、生涯学習センター会場のステージ設置に、協会員延べ七十名が出て協力した。

## 献血への協力

「いしずえ」により協力をお願いした日本赤十字血液センターの献血が、七月十四日(金)当協会を会場として行われ、来場した会員・家族・社員五十八名中四十三名が献血に協力した。



## 安全標語

◎まさかより もしもの時の  
自主防災

青木 徹 渡邊工業(株)

◎だいじょうぶ?と 不安になつたら 再確認

飯田由香 (株)飯田建設工業

## 協会の動き

### 安全大会・安全祈願祭の開催



(社)沼津建設業協会(会長長渡邊康二)は、建設業労働災害防止協会静岡支部沼津分会(分会長渡邊康二)・安全委員会(委員長高田弘之)との共催により、安全意識のより一層の高揚を図り、建設業の労働災害の絶滅を誓うことを目的として、六月二十日(火)午前十時より沼津市民文化センターにおいて、「平成十八年度(第三十六回)安全大会(兼

安全講習会)・安全祈願祭」を開催した。

松浦達弥沼津労働基準監督署長・梅田豊沼津土木事務所長よりご挨拶をいただいた後講習会に移り、労働基準監督署日吉浩第二課長より「建築物等の解体等の作業におけるアスベストばく露防止対策」について講義を行っていただいた。

引き続き開催した安全祈願祭においては、建設業労働災害による物故者に対しての黙禱に続き、山王神社祭司により神事を行った。

出席者は、官公署・協会事務局を除き百十五名であった。

### 木建協議会

#### 講習会の開催

沼津地区木造家屋建築工事安全協議会(委員長金澤清文)

は、六月十三日(火)午後一時三十分より静岡厚生年金休暇センター(ウエルサンピア沼津)において、「平成十八年度木造家屋建築工事従事者労働災害防止講習会」を開催した。

松浦達弥沼津労働基準監督



署長よりご挨拶をいただいた後、同署日吉浩第二課長より「木造建築工事現場における事故防止・沼津労働基準監督署管内の災害発生状況」について講義を行っていただいた。

また、金澤委員長が「パトロール実施に当たっての重要ポイント・パトロール指示書の活用」について講義を行った。出席者は、官公署・協会事務局を除き六十一名であった。

### 合同安全パトロールの実施

安全委員会(委員長高田弘之)は、六月二日(金)午前九時

より沼津労働基準監督署、沼津土木事務所(本所・御殿場支所)、東京電力(株)沼津支店、沼津・御殿場・裾野・小山地区との合同パトロールを実施した。

官公署等を除き、正副委員長・事務局を含む十六名が参加し、沼津地区「平成十七年度二級河川新中川広域基幹河川改修工事(護岸工)」他裾野・御殿場・小山地区計四箇所のパトロールを実施し、御殿場市建設業協会において、各々の工事現場について講評を行った。



### 広報懇談会の開催

広報青年委員会(委員長長則夫)は、七月二十日(木)午後五時よりぬまづ軒において、「平成十八年度広報懇談会」を開催した。

「いしずえ」に特別寄稿をお願いしている勝間田秀彦・後藤貞一・保坂貞治氏をお招きし、白井良太副会長以下正副委員長・委員・事務局の十四名が出席し、読者に分かり易い・読み易い紙面のあり方・委員会サイドの執筆の苦勞に対するアドバイスを頂くなど懇談を行った。



# 家族がみた 父親像

拓和産業(株)  
飯田敦彦氏(娘)  
飯田浩奈



## お父さん

わたしのお父さんは、仕事  
が休みの日は、家で本を読ん  
だり、パソコンでゲームをし  
たり、昼寝をしている事が多  
いです。だけど気分がいい日  
は、車で箱根に連れて行って  
くれたりします。この前箱根  
に行った時、タオルとボール  
ペンを買ってくれました。い  
つしよに出かける事が少ない  
けれど、いろんな物を買って

くれて、わたしはすごくうれ  
しいです。  
「やっぱり、お父さんってや  
さしいなあ。」  
と思いました。

お父さんは、坂本りょうま  
の事が大好きなので、春休  
みに家族旅行で京都に行った時  
も、りょうまに関係のある色々  
な所に連れて行ってくれました  
た。寺田家では、中を見た後  
に、色ちがいやちがう形のス  
トラップをいっぱい買ってい  
たので、みんなで笑ってしま  
いました。

博物館に行った時、りょう  
まの実物のパネルがあったの  
で、お父さんはうれしそう  
な顔をして、りょうまと写真  
をとっていました。

新京極で、わたしたちがお  
みやげを買っている間に、ち  
がう店で、りょうまが使っ  
ていたのと同じ形の刀をいつ  
の間にか買っていたのでびっ  
りしました。

りょうまの事が好きだけ  
ど、わたしたちの事もいっ  
ぱいかわいがってくれたり、お  
もしろい話をたくさんしてく  
れるお父さんが大好きです。

# 広場

紙を使っているよな、そんな  
に儲かっているのか?」なんて  
冗談もいわれましたが、T先  
生、あの時も言いました、  
この業界本当に厳しいので理  
解してください。

今年になってから、同窓会  
などで小学校や中学校の先生  
とお酒を飲む機会があった。  
先生と生徒という関係はあつ  
ても、同じ時間を共有した懐  
かしい話で盛り上がり、また  
あのとこの先生の言動にはこ  
ういう気持ちがあったんだと  
いうことが今更ながら分り、  
非常に楽しい時間だった。一  
人の先生は、この「いしずえ」  
をちゃんと読んでくれていて、  
「いしずえを見て、キミの事  
を思い出したよ。しかしいい

しかし先生達と話をして一  
番感じたことは、人生死ぬま  
で勉強ということ。私達  
の建設業という仕事は、経験  
工学であると共に、私がこの  
仕事に就いてからも電子納品  
や提出書類の変化など常に勉  
強してきたと思います。先生  
という職業も、生徒の指導方  
法や授業内容も時代と共に変  
化していると言っていました。  
これからも自分の為に勉強  
を続けると共に、たまには違  
う業種の人と話をして刺激を  
受けたいと思います。

東栄建設(株) 田澤 浩之  
競技のフィールド…サッカー  
リング……ボクシング  
グラウンド……ラグビー  
試合の目的、競技場、用具…野球  
エチケット……ゴルフ  
以上は競技規則(ルール)の  
第一条の条文の見出しです。  
殆どのスポーツが競技(試合)  
を行うフィールド等の規定を  
していますが、ゴルフは第一  
章で「エチケット」なのです。  
ゲームのルールの前に、まず  
エチケットありき。この章の  
中にはコース上の心得、ゴル  
フの精神、安全の確認、他の  
プレーヤーに対する心配り  
等かなり具体的に指導(忠告?)  
しています。ルールブックの  
中になんでわざわざ…  
スコアは別にして、第一章  
は肝に銘じて楽しいゴルフを!!



水谷美保子  
川田順歌碑に件

老らくの恋語の継ぐ

露の歌碑

十六夜や絹雲はらと

脱ぎにけり

黄昏は亡夫の恋しき

杜鵑草



孫少女くらびる立ててこの朝も

金子みすずの詩をば誦す

帰りゆく子ら見送りてしばらくは

庭に向く窓すこし開けおく

あゆみ寄りふり仰ぎ見つ

花房にしづくかがやく白さるすべり

せりざわきみよ

# ペット紹介



(株)小方組

野呂義秋

我が家の二匹の猫は、とっても可愛い猫でありました。正直、ぼくがここまでではまるいや、育てる事ができるなんて、自分でもびっくりです。二匹の猫は兄弟で、兄は「ゴー」、弟は「バン」です。

兄弟と言っても、ただ拾った所、いや、捕まえた所と言うか、まあ一出会えた場所が一緒に、弟のバンが丁度一週間遅れで我が家にやってきたので弟に決めたのですが、先に来た兄のゴーはすっかり兄貴面で、とてもたのしいかぎりでした。またよちよち歩きでしたが、ゴーの仕草を見ていると「バンよく来たな」と言う感じで、じゃれ合い、

それを見て連れてきて正解でした。

一人者の自分としては、ようやく一人で生きているのにいきなり二見、いや、二匹の親になるなんて、予想もしていない事を自分がしているのにびっくりです。

たぶんこれは「ゴー」、バンに出会う半年前に、やっぱり、同じ場所で猫を捕まえて、貰ってがいなければ自分が育てようとした猫がいて、その時は心優しい好青年が名乗りを挙げて育ててくれたのですが、その年の夏の暑さで死んでしまい、その可愛い猫の事が胸の奥に残っていたのですね。だから同じ所で捕まえた「ゴー」と「バン」を自分で育てる事にしたのであります。

でもいざ育ててみるとすっかり大変で、これはもしかすると育児ノイローゼと思わせる位の所まできましたが、順調に育つに連れて可愛さも倍増でした。



仕事から帰ってくると、二匹で玄関先でお出迎いです。(多分、本当はお腹がすいた飯!!喉乾いた水!!)その行動を見てると、なんだか自分がお腹を痛めて生んだと思うくらい可愛いです。でも今は北海道の叔父の家に居ます。元氣かなー早く会いたいなー親バカって良いですね!!

# 私の大切にしているもの

(株)集組 杉山 暁彦

私の大切にしているものと言えば、中学時代に参加した千本浜海岸で開催された駅伝大会の表彰状です。この大会のために秋頃から厳しい部活動の後に、更に過酷な走り込みを重ねていくのです。

大会が間近に迫るとやがて各々の担当区間が発表され、私はなんと一区を走ることになりました。距離にして約七Kmです。

やがて本番当日になり、緊張したまま走り出しました。何とか先頭の集団に付いて行きましたが、徐々に差が生じて来ました。中継地点が見えると無我夢中で走り、標を渡すと同時に地面に倒れ込みました。回りからは応援に来て

くれた友人たちの温かい声が聞こえてきました。タイムは二十六分十五秒で区間順位は五位でした。

結局、私の学校は、途中順位は変動しましたが五位に輝き見事入賞です。その表彰状は今でも大切に保管してあります。

最近、偶然にその大会が開催された場所で仕事をする機会がありました。久しぶりにコースを見渡しましたが、今ではきつとあのタイムでこの距離を走ることは難しいでしょう。

「出だしが肝心」という言葉がありますが、これからの日常生活においても物事を進める上で、気を引き締めて取り組んで行きたいものです。



## ●現場代理人の声

(株)室伏組

鈴木弘典



この業界に入る前、土木関係の仕事はまったくやったことがありませんでした。イメージとしては、スコップを持ってバリバリ仕事をする。力さえあればなんとかなるだろう。そんな考えで入社したのですが、いざ仕事となると、想像していたこととは全然違い、頭を使う難しいことばかり。上司には怒られ、精神的肉体的に疲れ、七十五Kgあった体重も、入社して1ヶ月で六十五Kgにまで落ちてしまいました。これでは自分がいまいちってしまふんではないかと、何度辞めようと思ったことか。しかし、つらいから仕事を辞めてきたなんて、妻、子供が聞いたら笑われてしまふし、子供に示しがつかないと思ひ、持ち前の根性で何とか乗り切

り、今の自分があります。室伏組に入社してから九年になります。いろいろな資格も取らせて頂き、現場代理人として、現場を任せてもらえる立場になり、今でも毎日が勉強の日々です。

今回自分が担当した現場は、一つの現場に三社も入っている、少し複雑な現場でした。一つの現場に他社が入っている現場を持った事がなかったので、最初は非常に戸惑いしました。一番頭を悩ましたのが、他社との施工範囲の決定、工



程打ち合わせを行い、工程を組むことでした。結局自分達が早く仕事を進めて行っても、他社との取り付け、絡みがある為、相手が終わっていないとそこから先の自分達の仕事が出来ないとか、最終的に一社、二社抜けていき、残った自分達にあれもやってくれ、これもやってくれと要求ばかり多く、工期内に終わる仕事も終わらなくなってしまう。本当に大変な思いをしました。しかし、いろいろな難しい問題も社員みんなで頭を悩ませ解決し、あっさり実行してしまうみんなの姿を見て、本当にすごい会社だと改めて実感しました。

今後も指導する立場として、技術面も精神面も鍛え、日々努力していきたいと思っています。

私の余暇は、休日早朝に夜明けの富士山をカメラに収める事です。始めたキツカケは、十六年前に仕事で知り合った人が、大晦日に山梨へ泊まり込みで、撮影に行くのに同行したことです。その時は、カメラには殆ど関心が無かったので、使い捨てカメラを持って行ったのですが、間近で見ると富士山の雄大さに見とれて、シャッターを切るのを暫く忘れていたほどでした。

家に戻って、年末に買っておいたジャンボ宝くじの発表を見たら、組違いの十万円が当たっていたので、早速へそくりをプラスして、カメラと三脚を購入しました。

それからというものの毎週のように、写真を撮りに出かけました。(主に一人で行ったのは、誰かと一緒に写真を撮って、思うような写真が撮れないからです。)朝の二時、ごそごとと物音を立てないよう、(家人を起こさないように)出かけて行きます。一時間一時間三十分くらいで事前に決めておいた撮影ポイントにつきます。



夏の暑いときであれば良いのですが、冬の寒いときには、カメラ・三脚をセットした後で後ろを振り返ると、自分の足跡に霜が降りて凍っているのはありませんか。両手に息を吹きかけながら何でこんな事をしてるんだらうと自問自答します。しかし、朝日が昇ってくるときのあのドラマが見られるのは、寒さを我慢して待っていればこそです。

あの感動をもう一度味わいたいと思ひ、近々行動を再開しようと思ひています。撮影を始めた頃の写真を添付します。

## 私の余暇

### At one's leisure

尾崎建設(株)  
尾崎正敏

# 言いたい放題

## 建設業界について

私が建設業界に飛び込んだのは昭和六十二年の四月で、まだバブルがはじける前の事。不安がいっぱいの中で電力関係の業界に入りました。

初めて現場に出た時不安はありませんでしたが、覚える事はばかりでその不安は一日でなくなりました事を覚えています。

現場では自分の父親と変わらないおじさん達が多く、すぐに現場の人達に溶け込み現場に出るのが楽しい毎日でした。

書類や図面等は苦手でしたが、現場で体を動かす事はとても楽しくて、充実した毎日でした。その頃に思った事。

建設業界と言う所は、国民が暮らして行く中で必要な業界なんだな一と思いました。

道路、橋、ビル、工場、住宅、河川整備、海岸整備、その他人が暮らして行く中で必要なものを全てやっているのがこの業界。他にも電力、鉄道、ガス、水道、下水道のほとんどが建設業界で施工している。

バブルがはじける前は、現場で働く作業の方々、親方一人人工など様々な人がうろおつていて、良い生活をしていた人が多かったでしょう。

私も同級生からは一歩抜け出した収入でうらやましがられました。業界も様々に変化していき、今ではサラリーマンの方が全然収入が良くて、安定しない建設業界は厳しい状況にあると感じます。

なぜ、公共事業で町を良くする為に仕事をしている職人さん達が、エアコンのきいている部屋で民間から収入を得ている会社のサラリーマンの

半分程度の収入しか取れないのか……

日給一万五千元、月に二十五日働いて三十七万五千元、年間まともに働いて四百五十万円。サラリーマンの平均収入は、六百万円を超えているだろう。職人さん達が体を壊したら、収入は減り生活が出来なくなってしまう。そうだった時、公共の仕事にたずさわっている職人さん達に対して、一般サラリーマンのような補償を公の方でして欲しいと思った。安価で工事を受注した時、現場で働く作業者にも少なからず影響があるだろう。受注した会社も苦しい資金繰りの中で、利益確保のため末端に泣いてもらうだろう。そうやって、又職人の単価が見直されて安くなっていく。公は公共事業の末端で働く職人の事もっと感謝する意味で、手助けする必要があるのではないかと思った。

話はそれが今建設業をやっている世のため、人のため市

民のために街をより良くするための仕事についている事を誇りに思っています。建設業界がサラリーマンに負けないように、又良い時が来る事を祈っています。



白幸産業(株)  
田代雅也

先日、友人と一緒に入った本屋に積み上げられていた「超バカの壁」。養老孟司の前著「バカの壁」が話題作となっていたのは知っていたが、何となく買わずにいたのでこちらは買ってみた。

おもしろい。私達が何かを言おうとして、「オイ。」でも「バカ。」でもよい言葉を意識する瞬間の一秒前に、もう脳はその時身体が置かれた条件に応じて勝手に動き出しているという。Why not.

何よりも私達に一番の影響を与えるものは、その今正に瞬間の私達自身を取り巻いているすべての事象ということになる。

「心頭滅却すれば火もまた涼し」という言葉が示すように、著者がその著書の中で私達に提示してくれることはまったく別の次元の精神文明が存在するのをもまたこれ事実である。

私達は、日々建設業に従事しており、職場を取り巻くあらゆる事象は、日々の私達の言動を決定付け、その積み重ねによって活発な経済活動が行われている。

しかし、時には私達を取り巻いている様々な事象を別の次元、別の観点で観察するということが必要なのでは……と思う今日この頃である。



# 御厨の古今みくりや(8)

村

鑑 (1)

勝間田 秀彦

## 延宝八年印野村の村鑑

### 印野村

御殿場御礼場迄貳里拾五町五拾四間

枝郷鶴巢迄三拾貳町四間

四間

枝郷萩原迄壹里壹町四拾八間

枝郷北畑迄貳拾町六間

一、当村より道法

水塚村名主前迄壹里四町五間

川柳村名主前迄壹里六町五拾七間

板妻村名主前迄壹里拾貳間

須山村名主前迄壹里拾五町七間

拾里木新田名主前迄貳里拾八町四拾六間

一、本村百姓家統

東西江貳町貳拾間

南北江四拾間

一、枝郷鶴巢百姓家統

東西江拾町拾四間

南北江五拾貳間

一、枝郷萩原百姓家統

東西江壹町拾六間

南北江北畑百姓家統

東西江三町

南北江壹町拾六間

男 貳百貳拾壹人

女 貳百貳拾六人

出家 貳人

一、馬数合八拾五疋

一、本村飲水井戸を用申候、但し村之中二井戸三つ御座候

一、枝郷鶴巢二而八用水敷と申沢より參候水を用申候、但家統より北之方二而御座候

一、枝郷萩原二而八、用水家統より北之方二出水御座候を用申候

一、枝郷北畑二而八、用水井戸水を用申候、但村より北方二井戸式つ御座候

一、惣家数合六拾四軒

内 訳

壹軒 名主

三拾三軒 本百姓

三拾軒 無田之者

一、畑反別合八町五反六畝歩

一、屋敷八反七畝貳拾五歩

一、屋敷五畝三歩 名主壹人 二御免

一、寺地中五畝六歩 寺免

一、野畑合式拾六町壹反六畝 拾三歩

一、高九石八斗八合 先高

一、高四拾五石三斗五升壹合 外二五斗貳升 寺分

一、一數合四百四拾九人内



# 「からだづくりの教室」便り (19)

宮本摩知



## 絞る

台風シーズンに家の大掃除をするのも一案とお奨めしているのですが、年末ほど寒くないので水を使うのも楽です。また八月ほど暑くないので、軽くもう一汗かくのに良い季節です。

また台風到来前に掃除と片付け、整理整頓をしておけばほっとした気分にもなります。そして大掃除と言えば、全身を大きく動かして身体のすみずみまで使って、家もきれいになり、身体もすっきり気持ち良い結果になります。さて住宅のスタイルが大き

要な効果があるのです。最大のメリットは腰が鍛えられることです。掃除は毎日のことですから、毎日全身を使い知らぬ間に鍛えていたのです。現代人は「鍛える」という言葉

を聞くことスポーツや筋肉トレーニングを連想するようですがそういうことではなく、全身の機能を十分に使うということです。筋肉や腕力ではありません、かつては掃除というのには誰にでもできること、小さな子供でもお手伝いといえ、掃除から始めたのではなかったでしょうか。またお年寄りにも身体を動かすきっかけとして、朝晩の掃除や庭の掃除はとも手軽だったのではなかったでしょうか。ちょっと想像してみてください

い。雑巾をぎゅつと絞り、家の隅々まで雑巾がけをする。相当な運動量だと思いませんか。そしてこの雑巾を絞る動作が決して指先だけのことでなく、ちゃんと腰を使っているということをお知らせしたいのです。

もちろん今でもお風呂のタオルや台所の布巾を絞ることは毎日何度も繰り返していると思いますが、本当にしっかりと絞っているかどうか？と言いますのは、浴用タオルも化繊ですとほとんど絞らずにそのままかけておくだけだったり、布巾の代わりにキッチンペーパーで吸い取るだけになってしまったり、絞ることすら省かれてしまっていることが多いのです。雑巾がけがほとんど無くなり、掃除機を前後に移動させる動作になってしまった今は

ほとんど腕しか使っていない。従って重い掃除機を使うと腕だけが疲れてしまい、やがて肩にも力が入り、腕も肩もバリバリ、ガチガチ状態。理由はともかく「お掃除は嫌いっ」という人は案外います。

でも身体を上手く使い、お掃除をしてみると、家はきれいになり、身体は気持ち良いし、ほど良い運動ですからかなりのダイエット効果も期待されます。是非、腰を入れてお掃除をやってみませんか。

「絞る動作」  
タオルでやってみましょう。左手が下、右手が上、で軽くタオルを絞る形に持ちます。剣、竹刀を持つ形です。左手と、右手を中心に向け回して絞ります。



次に絞る時は左手はそのままで、右手だけ持ち替えてまた中心に向けて絞ります。それを何回か繰り返すと驚くほどかなり固く絞れます。絞る

時のコツは小指と親指をしっかりと使うのです。極端に言えば親指と小指だけでも絞れます。



すると、絞る動作のたびに腰に力がまとまっていく感じがわかります。何度も何度もやってみるとはつきりとその感覚がつかめてくるのです。腰に力がまとまるとそれは自然な気持ち良さが身体全体に伝わっていくことなのです。タオル一本絞るだけでも本当に身体は変わり快適になるのです。

### ワンポイント

アドバイス……

子供の頃から生活の基本動作が訓練されると身体がいつも「気持ち良い」と感じて暮らせます。茶碗や箸の持ち方、洋服のたたみ方、座り方、お辞儀の仕方、雑巾や布巾の絞り方、拭きかた、など……からだづくりに良いことばかりです。

# 静岡探検倶楽部

第三十七回 随想 青春18きっぷ

文 井下 秀文

このところ忙しく労働し続けているので、探訪紀を書くネタがありません。よって今回は、現在の不遇な立場から逃避するがごとく、大いなる鉄道旅行を展開するきっぷの話をしましょう。

8月から9月にかけて、東海道本線の普通電車の中は、大きな荷物を持った若者やグループで通常よりも混雑している。「青春18きっぷ」で長距離を移動している人たちである。この現象は全国各地の長距離普通列車によく現れる。

「青春18きっぷ」は利用期間が限定で、五日分一一、三〇〇円つまり一日あたり二、三〇〇円で、全国のJR普通列車が乗り放題という素晴らしいきっぷである。私も十年前まではよく利用していた。時間と体力が許せば、どこへでも行くことができる。今でも

機会があれば存分に利用したいと思っている。

「青春18きっぷ」の歴史は案外古く、二十年前の中学生時代にラジオCMで郷ひろみの「エキゾチック・ジャパ〜ン」とやっていた記憶がある。調べてみると、一九八二年から発売されていたようだ。

私が利用し始めたのは高校時代の一九八八年ごろで、友人と共同購入して分けて使っていた。大垣行き夜行列車を使って夜中に出発すれば、かなり遠くまで行くことができる。しかし遠方で泊まる金

はないので、いつも日帰りだった。行動範囲は関東一円、または京阪神地区までであった。しかし安い値段で列車をいくつも乗り継いで、未知の遠い所へ出掛けられるのはい刺激であった。

大学時代には自転車旅を本格的に始めたが、旅の開始

点までの移動および終了後の帰宅手段として18きっぷを利用した。この場合の旅の地点は、北海道であったり東北

であったり、四国であったり九州だったりした。自転車と自炊道具を合わせて三〇キロにもなる荷物をかついで乗換えを繰り返し、日付が変わって列車が終わればそこで駅寝をし、何日かかけて鉄道で移動をし、その後自転車です

ていたのである。体力気力がみなぎっていたものだと思わしく感じる。まさに青春だ。この時に得た感覚として、静岡を基点とすると一日で行ける所は、西だと熊本および

宇佐。東だと青森となる。北海道は二日目に旭川まで。帰りは八戸からだ豊橋までOK。西からは覚えていないが、九州からは無理だったような気がする。

しかしそれから十数年。鉄

道をとりにまく状況はずいぶん変わってきた。

山形・秋田新幹線が開通したり、長野新幹線が開通したり、東北新幹線が八戸まで延伸されたり、九州新幹線が部分開業したりした。そのことが18きっぷ利用者に大きな影響を与える。

なぜなら、並行する在来線が廃止されたり、第3セクター化されるからだ。JRのネットワークが分断されてしま

い、利用しにくくなってきている。旅の自由度が下がるのはよくない。そればかりではない。各地の列車車両の老朽化の置き換えで導入される新車は、みんな様に短編成のロングシート車（窓を背にして座る通勤型）になってしま

う傾向にある。車窓を楽しめないし、くつろげない雰囲気である。感想を言うなれば、あれは列車でなくエレベーターである。何時間も乗っていら

れるものではない。長距離移動は新幹線を、の時代の流れで、普通列車はまるで修行のような心情で利用しなくてはならないような気

がする。

さて現在のダイヤではどこまで行けるのか。ちょっと時刻表を開いて確認だ。

静岡を夜中に通る「ムーンライトながら」号を利用する。東北方面は盛岡から八戸は第3セクター化されたので、別運賃二、九六〇円が発生するが、一日で青森までは無理なく行ける（JRのみだと奥羽線経由秋田まで）。その先は蟹田まで列車はあるが、駅前は小さいし、翌日の始発列車のメリットもないので青森が順当である。二日目は津軽海峡線を利用するが、快速「海峡」がなくなってしまう、北海道に行く普通列車がない、と思つたら、途中区間の蟹田―木古内に限り特急列車の自由席に乗れるらしい。乗換えが増えてわずらわしいが、なんとか旭川まで行くことができる。西へ出掛ける場合は、やはり熊本・宇佐までであった。二十三時間近くも乗り続けてきっぷの効力を最大限に生かす。日本の広さを体感するには安上がりな手段であり、時間があればまた実行してみたいものである。

一九六八年六月号  
雑誌「道路」のコラム  
緑地帯

その一

一九六八年四月二十五日。  
待望の東名高速自動車道の一部が開通した。東京―厚木、富士―静岡、岡崎―小牧間の約一三〇Kmである。(今から約四十年前のことである)

事故の発生である。連鎖反応で玉突き事故が発生し、事故に遭った人達は車から脱出し、中央分離帯へ逃げようとし、ガードレールを跨いで越えた。然し、上下線の高架の間は隙間があったので、十五mもの下の地上に落下し重傷を負った。

人)、二十三、二十七才であったと報告されている。高速道路には運転のルールがある。イギリスのパンフレットでは、九項目のチェックポイントを順次点検するように指導している。

その二  
「高速道路って、気持ちがいね。」  
「そうね。」  
と答えたが、頭の中では全く

「道のところどころに休憩所はどうだろう。」  
恋人たちの目をみつめ合える場所、運転に疲れた人がひととき休める場所、簡単な軽食ができる場所、木のテーブルとイスが置いてある……  
「路面に消音装置があるといいのだが……」  
防音壁が取り除かれ、周辺の景色が次から次へと走り抜けていく。ビデオの早まわしを見ているような……  
ドライブに来てよかったな。高速道路ついてもつともつと気持ちのいいドライブウエーになれる筈だよ。

真夜中のオープンを期して流れ込んだ車が、我先に走ろうとして、追越車線も緩速車線も無視して、三車線にビツシリ並んで走り出した。それはハイスピードレースのパレードのような景色であった。そのうち、一台の車がパンクしスリップした。後続車は慌ててハンドルを切った。車間距離が不十分な上、高速だから当然ながら接触し、追突

し過ぎでスリップし、反対車線に飛び込んで横転し、玉突き事故が起った。  
後日談だが、高速道路の制限速度を知らないで走った運転者が多数居て、「百六十キロで飛ばした。」と自慢しているドライバーも居た。  
この日の事故による負傷者の年齢は、十九、二十一(四

C、ストップ、ライト  
D、ミラーはきれいか  
E、ライトに泥がついていないか  
F、ウインド・ワイパー  
G、オイルと水は充分か  
H、燃料は充分か  
I、安全ベルトは締めたか  
J、睡眠不足でないか

別のことを考えていた。  
「道路の縁に空気浄化装置を取りとりつけたらどうだ？」  
「機械を隠すためにグリーンベルトをつくる。」  
木や草花は一年中絶えることなく、緑のトンネルの中を走る車は、風に吹かれて舞っている花のように見えるだろう。

# 古雑誌の随筆 (その四十七)



後藤貞一



## 特別寄稿

## 「水の惑星」

## 生命の営みのある地球環境を考える (62)

環境カウンセラー 保坂貞治

## 問題4

一般家庭に家電製品が普及し、容器、器具にプラスチック製品が普及してゴミの質が変化して、これに対応して明治以来の汚物掃除法は、ゴミ、し尿処理、清潔保持を規定していたものに代わり、一九五四年清掃法が公布され生活環境を清潔にする事によって、公衆衛生の向上を図ることを目的とした清掃法が制定された。清掃法は国庫補助の法的裏付けと都道府県、市町村の責任を明確にした。また「何人も公園、広場、道路、河川、港湾その他公共の場所を汚さないようにしなければならぬ」として生活環境の清潔保持を国民の義務として位置づけた。

一九五〇年代後半になり、

ゴミの収拾運搬に機械化が進み三輪車、トラックになり現在のバックカー車へと転換していった。ゴミもプラスチックが増え、一九六〇年頃より発泡ポリスチレンが軽く断熱、緩衝効果があり、製品の中に梱包用として大量に使用し大量に廃棄されゴミの量は急増した。

大都市は、排出されるゴミの焼却や埋め立てに追われるようになった。二十四時間連続稼働式機械炉の建設が行われ、焼却炉へのゴミの投入炉の運転操作が遠隔操作で行われ、煤塵除去施設として電気集塵機やマルチサイクロン等の公害設備が備えられた。また、エネルギーの有効利用も考えられ、一九六八年東京都

石神井清掃工場に余熱を利用した発電設備が建設された。現在はコンピューター制御を取り入れ、高性能電気集塵機や湿式有害ガス除去施設、またチツソ酸化物を除去する脱硝酸設備を備えた大型焼却炉が建設されている。このような焼却技術の研究発展に比べ、埋め立て地への調査研究は遅れていた。

## (6)ゴミと有害物質

一九七〇年代に入り、埋め立て地はゴミ投棄場という考えに立ち、投棄場から浸出する有害浸出水やゴミの中の有害物質等の分解活性に主眼を置いた設計へと変化してきた。施設の構造面での具体的な技術基準や一九七九年に制定された廃棄物最終処分場指針も

示した。こうしてゴミの処分も量と質の処理を同時に考えられるようになった。法的にも一九七〇年の廃棄物の処理及び清掃に関する法律が制定され、一九九一年に廃棄物処理法が制定された。さらにISO(国際標準化機構)における環境企画など国際的規格化の動き等を背景に、都市ゴミの問題の根本的な解決に向けて対応が始められた。

日本国民の生活は科学技術の向上と企業の努力で、次々に便利で優れた製品を生み出し、生活は向上し日本経済は発展し、豊かさや経済発展は世界の羨望の的となった。物は溢れ消費は美德と消費生活を煽り、使い捨ての時代に入っ

て行った。反面物質文明の豊かさと共に大量に使い捨てられたゴミが排出され、ゴミの量は急増した。焼却炉より排出される煙や埋め立て地より浸出する水に有害物質が含まれ、公害や汚染が問題となり様々な環境問題が発生した。環境ホルモンによる影響が一九八〇年代に発生し、その汚染は世界的規模で進んでいた。

中には種の存続も危ぶまれるものもあるといわれ研究が進められた。人類が豊かさを求めて作った化学物質は一千万あり、その内疑わしきは八万、分かつているのは僅かに五十、七十であるといわれている。

原因の化学物質をつかむのにも時間がかかるし、汚染の実態もつかみ難いのが公害物質や環境問題である。焼却炉による燃焼処理の対策と同時に、公害物質、環境汚染物質の対策をすすめてはならない。

先ず成すべきはダイオキシン等環境ホルモンの発生源となる塩化ビニール製品、プラスチック製品、農業用フィルム、各種農薬等有機塩素系の化合物の生産、使用を他の安全な物質に変える研究や努力が必要である。



# 未来に向けて

第72回

## 常識って何んだらう

昨今「会社は株主のもの」という言葉がもてはやされ、

それがあたり前のような風潮がある。会社は株主のものでない。株主の権利は「株主総会での投票権」である。会社の社内留保や資産は会社のものである。会社はそこに働く人たちのものなのである。このような常識？ 良識？ 普通の考え方がなぜ出来なくなってしまったのか？

常識とはいったい何であらうか？

辞書で調べると常識とは、世間一般が有していて当たり前のものでしている価値観、知識、判断力のこと、そして、ある社会の常識は必ずしも普遍的な真理であるとは限らないとある。哲学者の三木清氏によれば、常識の上位概念として良識があり、常識に疑問を持てる知恵が良識という。

ある日の産経新聞の記事よ

り  
教師に無理難題、理不尽な親急増とあった。

「あの子の親と仲が悪いから、今すぐうちの子供を別のクラスに移して!!」

「うちの子が怪我をして学校を休む間、怪我をさせた子供も休ませろ!!」

「持ち込み禁止の携帯電話を取り上げられた親から「基本料金を日割りで払え!!」

「小学校の一学年全クラスの担任配置表を独自に作成して「この通りでなければ子供を学校に行かせない!!」

「石をぶつけてガラスを割ったのは、そこに石が落ちていたのが悪い!!」

「義務教育だから給食費を払わない!!」

「親が学校にクレームを言いに来た日の「休業補償を支払え!!」

このような「信じられない要求」を教師(学校)に対してぶつけるケースが各地で増え

ているようだ。

また驚くのは、私が聞いた話の中で、一教師であるにもかかわらず、親の立場になると、学校に対し理不尽なことを要求する人がいるというのだ。我が子が可愛い、というのは何時の世にも変わらぬ親の子に対する愛情であると思うが、世の中は個人だけで存在しているのではなく、そこには様々な人とかかわりがある。物事を判断するときは一義的に、自己中心的な物の考え方しか出来ない人がいることに違和感を覚える。

お互いの立場を理解せず、一方的な自己中心の、良識を欠いた言動が社会に蔓延しはじめている、いや、既にしてしまったのかもしれない。

このような大人たちに育てられた次代を担う子供たちはいったいどうなってしまうのか? 情緒や感受性が豊かで品位のある日本が消えてしまうのではないかとさえ思う。

「世の中で生きていく限り必要なことは、他人の心を理解することである。偉い人は、人の心のわかる人である。」解剖学者の養老孟司氏は述べている。

お互いに、他人の心を理解し、聞く耳を持ち、見識を持つことこそ我々が過去・現在・未来へ向けて持ちつづける良識である。



## お知らせ

## 作文コンクール作品募集

## 1. 応募資格

「第13回親子自然教室」に参加した小学生

## 2. 作品の課題

自由

## 3. 作品の規格

- (1) 教室当日、協会が配布した封筒内の指定原稿用紙5枚以内。
- (2) 作品には、住所・氏名・電話番号・学校名・学年を明記する。

## 4. 募集期間

平成18年9月1日(金)～9月30日(土)

## 5. 作品の送付先

(社)沼津建設業協会広報青年委員会

## 6. 審査

主催者(上記5に同じ。)

## 7. 結果の発表・表彰

- (1) 平成19年3月1日(木)発行の「いしずえ」に、作品とともに掲載する。
- (2) 低学年・高学年別に、最優秀賞1点以内・優秀賞3点以内・佳作5点以内を表彰する。
- (3) 平成19年1月に、最優秀賞・優秀賞受賞生徒の学校を訪問し表彰する。

## 8. 応募上の注意事項

作品の著作権は、当協会に帰属する。

## お知らせ

## 写真コンクール作品募集

## 1. 応募資格

- (1) 協会会員・その家族・その社員
- (2) 協力会社・その家族・その社員
- (3) 「いしずえ」の読者

## 2. 作品の課題

自由

## 3. 作品の規格

- (1) カラーまたは白黒
- (2) キャピネまたは四つ切り・八つ切り

## 4. 募集期間

平成18年9月1日(金)～12月31日(日)

## 5. 作品の送付先

(社)沼津建設業協会広報青年委員会

## 6. 審査

主催者(上記5に同じ。)

## 7. 賞金

最優秀賞1点以内5万円・優秀賞3点以内各3万円・佳作5点以内各1万円

## 8. 結果の発表・表彰

- (1) 平成19年3月1日(木)発行の「いしずえ」に、作品とともに掲載する。
- (2) 平成19年3月開催の通常総会において表彰する。

## 9. 応募上の注意事項

- (1) 作品には、作品名・作者名を表示する。
- (2) 入賞作品については、ネガ等を提出する。
- (3) 作品の著作権は、当協会に帰属する。

## 主要行事予定

## ◎月例安全パトロール

日時 9月1日(金)

場所 (社)沼津建設業協会地区

御殿場地区

裾野地区

## ◎木造建築物組立等作業主任者講習会

日時 9月7日(木)～8日(金)9時～

会場 (社)沼津建設業協会3F

定員 60名

## ◎月例安全パトロール

日時 9月14日(木)

場所 (社)沼津建設業協会・長泉地区、

小山地区

## ◎建設業労働災害防止協会

静岡県支部大会

日時 9月20日(水) 13時30分

会場 しずぎんユーフォニア

## ◎現場管理者統括管理講習会

日時 10月6日(金) 9時～

会場 (社)沼津建設業協会3F

定員 40名

## ◎全国建設業労働災害防止大会

日時 10月5日(木) 13時30分

会場 北海道立総合体育センター